

## 留学体験レポート

University of Oxford  
川上 和也

Oxford 大学に留学しています、川上です。

アメリカにいたときの指導教官が突然 Google DeepMind に移ってしまうということで、またしても厳しい博士出願を余儀なくされていたのですが、無事合格をもらうことができ、イギリスに移り住みました。

アメリカの田舎に 2年間滞在したあとのイギリスはとても快適です。イギリスは食事が美味しくないといわれることもありますが、日本のカレーが食べられるファストフード店がたくさんあったりと充実しています。研究面でも論文を出せたのでひとまず OK かなとおもっています。

久しぶりのレポートになにを書こうか迷ったのですが、やはり出願の役に立ったほうがいいと思うので、出願戦略まわりを改めて書こうと思います。僕自身、2回の博士出願を経験していますし、出願の手伝いをしたみなさんもたくさんの合格を勝ち取っているの、すこしはパターン化できてきているかなと思います。

ちなみに昨年からは船井奨学生に情報系が少なくなってきたので、情報系の学生さんには特に優しいサポートができればなと思って活動しています。出願書類を手直ししたりするくらいですが、ぜひ連絡してきてくださいね。他分野でもある程度のコメントはできそうなのでご遠慮なく。

### 1. スケジュール

スケジュールですが 8月までに TOEFL 100点をとること、11月までに GRE の math で（ほぼ）満点をとること。9月に推薦状を書いてくれる先生のあてをつけて、お願いメールを打つ。12月の Submit までリマインドしまくること。これをこなせばかなり余裕と自信をもって出願できると思います。

TOEFL はとにかく受けることが大切なので、勉強を始める前にまず受けてみてください。その点数がわかれば次に何をすればいいかだいたい分かります。5月くらいに受けて絶望的な点数でも問題ありません。パターンで攻略できる程度の試験なので、作戦を練って改善していく作業をつづけければ 90 - 100点のレンジにいれることができます。

留学して周りの学生の点を聞いてみると、この英語で 100 超えたのか...とおもったりします。TOEFL というのはこつこつ努力したかしていないかが明白に見えるところなのかなと思っています。センター試験みたいなものですかね？

何度もしつこいですが、対策本をやって準備万端にしてから受験したくなる気持ちはわかります。しかし、8月に絶望的な点数では改善が間に合わないので、なるはやでの受験をおすすめします。

一方、GRE は受験できる回数が少ないので、失敗を抑えるための備えが必要です。GRE はアメリカ人も受験するのでいい教材がたくさん揃っています。ネットで試験形式のクイズができるサービスなどもあるので活用すると思います。TOEFL で苦勞した人は GRE の Verbal の単語を覚えようとは思わないことです。十分に時間があればやったほうがいいですが、とにかく量が多いので研究やその他の準備を圧迫します。反復練習で勘を研ぎ澄ます程度にしましょう。Math は難なく満点がでる試験ですが、問題文をきっちりよんで時間内に済ませる必要があるのでプレッシャーは感じます。

## 2. SOP の書き方

SOP のテンプレはざっくりこんな感じです。

- 1) 大きな研究の目標を書く
- 2) なぜそういう目標なのか
- 3) 問題意識を書く
- 4) 問題にアプローチしてきた経験その 1
- 5) 問題にアプローチしてきた経験その 2
- 6) Ph.D でやりたい研究
- 7) なぜその大学でやりたいのか
- 8) (もしあれば) 奨学金のこと

軽く文例も載せておきます。

- 1) My research goal is to develop artificial intelligence that can ....
- 2) I have sharpened my interest in this area through several related research and work experiences in
- 3) The challenges in XXX are three-fold. The first is...
- 4) The second challenge is to ..
- 5) The third challenge is one of learning. To deal with different..
- 6) In my Ph.D studies, I would like to continue investigating the three challenges I described above. In particular...
- 7) Based on my experience these past two years at XX, I expect that this research will involve several fields, including A, B, and C. Impressively, XX University has thought leaders in each of the above fields mentioned, including Professor YY, ...

8) Lastly, I wish to provide additional information about financing ability. Last month, I received a XX Scholarship, which supports Japanese students pursuing Information Technology Ph.D. degrees. This two-year scholarship, which covers 100% of tuition plus living expenses, is awarded based on academic performance and interviews with the XX committee members, ....

いろいろ描き方はあると思いますが、米国の先生も含めて何度も推敲していて、出願後にいい SOP だったと言ってくれた先生もいたので、そこそこ信用してもらって大丈夫だと思います。

### 3. 推薦状の書き方

まずいつもオススメしている推薦者の選び方ですが、学部から直接出願を狙う人には

- 指導教官一人
- 授業でもっともいい成績をくれた先生
- 外部の研究者一人 (共同研究など)

とオススメしています。

大学院からの出願の場合には、3人とも研究者のほうがよいと思いますが、なるべくいろんな面から評価をくれる人たちを選んだほうがよいと思います。同じプロジェクトに関わっていたひとを2人選んでしまうと、だいたい同じ内容になってしまうと思うので少しもったいないのではないかなと思います。研究能力、学習能力、プロジェクトワークなどバランスよく評価をしてもらえる人選をしておくのがよいと思います。

書き方ですが、自分とどのくらいの関係なのかを明記してもらうようお願いするといよいと思います。指導教官として3年指導、というのと、プロジェクトアドバイザーとして半年、というのでは全然違います。また、先生の過去の学生のなかで Top 何%なのか、とか担当した3つの授業の全てで上位何%でAの評価を出した、みたいな具体的な数字を明示してもらうとよいのかと思います。先生に海外経験があれば Based on my experience in X university, I am sure that he will be successful.. みたいに書いて、海外でもやっていけることを書いてもらえればいいかもしれません。

日本や中国の学生は自分で書かなくてはならないことが多いようですが、やはり自分では3人をかき分けるのはとても難しいですし、先生からの視点でないと書けないことも多いので、うまく仕上がらないようです。推薦状はとても大事な書類なので、なるべく早めをお願いして、日本語でもよいので下書きしてもらうのがよいと思います。あとは翻訳サービスにだして3通別の人に翻訳してもらえば、書き方のクセもごまかせそうです。笑

### 4. おわりに

今回のレポートではこれまでの経験を踏まえて、出願の際に意識していることをメモしておきました。少しでも今年出願される方の役に立てばいいなと思います。

真剣に準備されていて、信用できる方には SOP の原本等も公開しているのでご連絡ください。